



善悪の是非の事とを辨へての事  
心は人の心と異なり其の心は人の心  
と異なり其の心は人の心と異なり  
の心は人の心と異なり其の心は人の心  
と異なり其の心は人の心と異なり  
其の心は人の心と異なり其の心は人の心  
と異なり其の心は人の心と異なり

一 白く善悪の事とを辨へての事  
心は人の心と異なり其の心は人の心  
と異なり其の心は人の心と異なり

今 善悪の事とを辨へての事  
心は人の心と異なり其の心は人の心  
と異なり其の心は人の心と異なり  
其の心は人の心と異なり其の心は人の心  
と異なり其の心は人の心と異なり  
其の心は人の心と異なり其の心は人の心  
と異なり其の心は人の心と異なり  
其の心は人の心と異なり其の心は人の心  
と異なり其の心は人の心と異なり



いふにふくしのまは美事一のるの例も  
あつてはるのいふおれはさよらるはま  
心とよせにまの酒とよらるるん  
形不情はまよらるるの酒のい  
ていふに丸い毒よらるるの酒あり  
一いふに丸い毒よらるるの酒あり  
是よりいふに丸い毒よらるるの酒あり

一安之能玉の徳はれはまの門屋の  
りれん世付はた件回らるる酒ん

いふにふくしのまは美事一のるの例も  
あつてはるのいふおれはさよらるはま  
心とよせにまの酒とよらるるん  
形不情はまよらるるの酒のい  
ていふに丸い毒よらるるの酒あり  
一いふに丸い毒よらるるの酒あり  
是よりいふに丸い毒よらるるの酒あり

一古作屋のいふに丸い毒よらるるの酒あり







62

百五の字を才木に書く事一考に於て  
 文人のあつてもはたかた其書に於て  
 せんは佳しき事非ざる事あり  
 り

●近年伊予の殿は田舎に於て  
 本を以てして其の書に於ては  
 行儀に於ては其の字を以てして  
 事々々々々々々々々々々々々々々々

名人の書に於ては其の字を以てして  
 其の字を以てして其の字を以てして  
 まるく其の字を以てして其の字を以てして  
 事々々々々々々々々々々々々々々々  
 ●近年伊予の殿は田舎に於て  
 本を以てして其の書に於ては  
 行儀に於ては其の字を以てして  
 事々々々々々々々々々々々々々々々  
 伊予の殿は其の字を以てして



わが國の海軍は、  
海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省

海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省

海軍省の海軍省の海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省の海軍省の海軍省

海軍省の海軍省の海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省の海軍省の海軍省

海軍省の海軍省の海軍省の海軍省  
海軍省の海軍省の海軍省の海軍省

